

令和4年3月

県土整備部若手勉強会1期生

勉強会1期生 提言

県土整備5つのチャレンジ

- 1. 社会を支えるインフラから、多様な価値を持つインフラへ
- 2. 公物管理の分野で新たなサービスを提供
- 3. 三次元を超えて ~リアルデザインから情報デザイン、体験デザインへ~
- 4. ICT活用工事による建設業全体の生産性向上にむけて
- 5. 建設分野の働き方をブレイクスルー

想いの実現に向けて業務改善を進めます!

令和3年度の活動



「はじめの一歩」にチャレンジ!



専門性・技術の継承

現場を抱え、幅広い専門知識が求められる県土整備部で、多様な働き方や生産性向上にむけて、デジタル技術の活用によりブレイクスルーを目指します。



はじめの一歩に取り組むツール



頑丈・防水・小型軽量

ウェアラブル、水中、定点観測等の多様なシーンでの利用を想定。



安価、持ち運び・準備が容易

導入しやすく、運用も簡単。 ドローンを活用できる場面が増える ことを期待。



みんなが使えるアプリケーション

スマート改革課推奨の使いやすい動 画編集ツールで実演してみる。

チャレンジ① 災害現場の空撮をライブ配信!

伝えたい情報、欲しい情報を迅速に共有!





ZOOMを使って現地の状況をライブ中継。 現地と本部でスムーズなやり取りができ災害時等への活用を確認!詳細 はこちらをクリック ► https://youtu.be/-SRYb-SG3Ac

チャレンジ② デジタル技術で施設点検!

危険な場所、見えない場所も安全かつ短時間に確認!

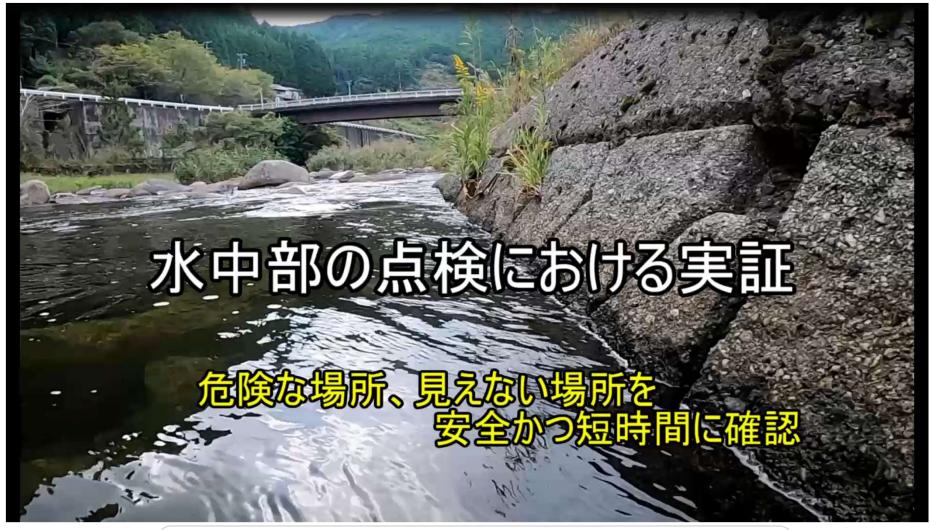




急峻な高所など点検が困難・危険な施設を軽量ドローンを使って点検。 安全かつ広範囲に短時間で詳細を確認!事前準備も簡単で効率的! 詳細はこちらをクリック■https://youtu.be/gUkaXeywh50da

チャレンジ② デジタル技術で施設点検!

危険な場所、見えない場所も安全かつ短時間に確認!





危険を顧みず確認していた水中部の施設をアクションカメラで点検。 クリアな映像でブロック積の基礎や根入れの状況をクリアに確認! 詳細はこちらをクリック☞https://youtu.be/5wkPjxva3G4

チャレンジ③ 軽量ドローンで気軽に空撮!

お手軽に高品質な資料を作成!





ビル所有者の許可などに時間のかかる高所撮影を軽量ドローンで実施。 準備期間の短縮に加え、広角に撮影できるため見栄えが上々! 詳細はこちらをクリック▼https://youtu.be/RKf33NDHDMc

チャレンジ④ アーカイブ動画を作成!

好きな時間に研修を受講! ずっと残せる!

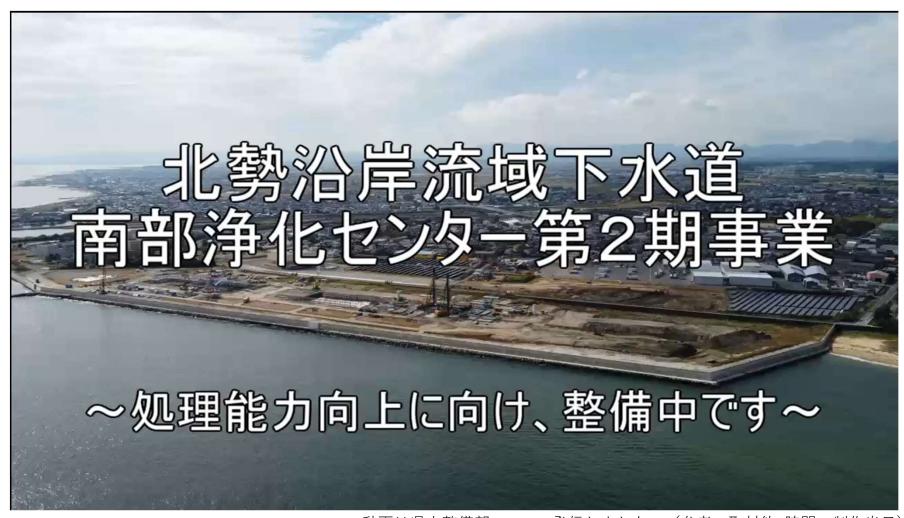




時間が合わない、現場遠い等の理由で参加出来ないことが多い現場研修。 アーカイブ動画の共有でいつでもどこでも研修に参加! 詳細はこちらをクリック**☞**https://youtu.be/WDXxIhgL4q8

チャレンジ⑤ 広報用の動画をかんたん作成!

現場の躍動感、現場技術のかっこ良さを動画で発信!



この動画は県土整備部Twitterで発信しました。(参考:取材約1時間、制作半日)



公共事業に親しみや関心を持ってもらえるよう、建設現場の プロモーション動画を作成。公共事業の魅力を積極的に発信します! 詳細はこちらをクリック▼https://youtu.be/K0T2VQ_Rh-0

みんなが使えるように!

勉強会の「はじめの一歩」を 県土整備部の「はじめの一歩」へ

1) 事例集・マニュアルの作成







2) 備品購入リストの共有

令和2年度 県土整備部 若手勉強会で導入検討し、購入したもの			(単位:円)
内容	商品名	金額	備考
ドローン関係		92,080	
本体	DJI Mini2 コンポセット	86,900	
賠償責任保険(1年間)		5,180	ドローン用
ウェアラブルカメラ		73,858	
本体	GoPRO Hero8 ブラック	55,880	
ヘッドストラップ&クリップ		3,080	ウェアラブルカメラ用





各建設事務所へ

みんなが使えるように!

勉強会の「はじめの一歩」を 県土整備部の「はじめの一歩」へ

1) 事例集・マニュアルの作成





ハードルが高い印象のある動画編集を誰でも出来るように、 編集の簡単さと楽しさを伝えることを意識したマニュアル動画を作成! 詳細はこちらをクリック▼https://youtu.be/s9xoUDTUuOo

取組の浸透、水平展開へ向けて

早速、「はじめの一歩」が始まっています。



県道桑名川越線の朝桑橋(仮称)の工事現場では、三点式杭打機による基

杭は回転しながらゆっくりと土の中へ登

このような大型重機はそのままの形では運ぶことができないため、本体と 部品とに分けて運ばれ、現地で組立が行われます。





現場立会を 動画でアーカイブ

10年先のその未来へ。



チャレンジの灯火を絶やさない!

県土整備部若手勉強会1期生

